

したが枠の都合で1/4に納めなくてはならず、最も印象的だった事を簡単に四つにまとめます。

まず一つ目は日曜の教会でのサンデースクールです。毎週教会ではミサに続き子供達が年齢にあつた聖書の勉強をします。皆、熱心に学んでいる姿が印象的でした。新約、旧約聖書は大変難しいはずですが、小さい頃から内容を習得する仕組みがあるのだと知りました。

二つ目は中学校の授業です。数学の授業を見学しましたが、生活の中でのお金の流れを計算してゆくもので、例えば収入に対し、どれだけを貯蓄、生活費、投資などに充てるかという内容です。実用的な事を数学と同時に学習していて日本の授業とは異なつて見えました。

三つ目はアメリカ先住民文化についてです。現地の子孫が衣装、道具、楽器等を披露して下さいました。亀の甲羅、鳥の羽、動物の皮などが細部まで使われ、どれも特徴的でした。象形文字と意味も幾つか教えてもらいましたが、セドナで入手した象形文字一覧とは全く違い、先住民は一括りにはできず、各土地の部族によって異なるのだと知りました。

四つ目は、オレゴン州は消費税が無い州だということです。ホストファミリーに仕組みをたずねたところ、土地や家に対する税や光熱費が他州より割高なので、生活費全体は他州と大きく変わらないとの話でした。日本は国単位で法律や消費税も決められますが、アメリカは州の境界線を越えるだけで法律や税が変わって

来るのだと知りました。

最後に、オレゴンシティは町も綺麗に整備され周辺の自然も美しいところでした。そのような美しい町の人々と楽しい時間を過ごせ充実した滞在となりました。帰国後もホストファミリーとの交流を楽しんでいます。

派遣事業参加は貴重な体験となりました。本当に有り難うございました。

オレゴンでのホームステイを体験して

高橋 空良

僕は今年の三月、立科町の姉妹都市オレゴン市に派遣生として七日間滞在して来ました。ホームステイを経験することで、今の自分の英語力で初めて英語圏の人達とコミュニケーションを取り、異文化に触れ、日本とは違った雄大な大自然を自分の目で見るという、貴重な体験をすることができました。

町の産業を見る機会となったのは、ホストファミリーに連れて行ってもらったサケやチョウザメの養殖場とチーズファクトリー、そして買い物を経験したショッピングモールでした。

町や学校を見学したことで、文化、歴史の違いを肌で感じました。さらに毎日の食事から食文化の違いにも驚きました。そして、町から見た雪を被ったマウンテンフット、雄大なコロンビア渓谷、アメリカ一落差のあるマルトノーマ滝を見たことは強く印象に残っています。この雄

大な自然を背景にオレゴンの歴史と文化が育つたことを思いました。

コミュニケーションについては、もちろん英語力は大切ですが、相手を理解しようとする意志と、自分を伝えようとする熱意が大切だと思いました。そして英語力については、最初は聞き取れなくても、英語で生活しているうちに、理解できる単語やフレーズが増えてきました。耳からの経験が大切だと実感しました。そして声に出して試みるこの大切さも同じです。

日本を離れて外国で生活する体験は、ひとつだと思っていたこと、当り前だと思っていた事がそうではなかった、という事に気付かされます。これを出発点として英語力を磨き、さらに他の国の人達ともコミュニケーションを取るようになりたいと思いました。

七日間の体験はとても貴重なものでした。本当にどうもありがとうございました。

オレゴンの旅

田中 春奈

オレゴン市派遣事業を通して、感じたことや学んだことが沢山あります。一つ目は、異文化でのコミュニケーションを体験したことです。行く前からコミュニケーションの仕方は考えていましたが、いざホストファミリーの方と話すとうまく言葉が出ず、結局YES・NOで答え

てしまうことが多かったです。でも三日目くらいから自分から話しかけてみたり、ジェスチャーや表情を入れることができました。自分の言いたいことが相手に伝わるのがこんなにも嬉しいのだということを変更して学ぶことができました。

二つ目にオレゴンの雄大な自然とのふれあいです。立科町にも神秘的な山や、きれいな水がありますが、オレゴンの自然は迫力があり日本では見ることでできないような風景でした。特に五日目に行ったマルトノーマ・フォールズという滝でそれを感じました。滝に近づくにつれ滝からのミストをあげ正面から見るスケールの大きさに感動しました。この美しい自然がいつまでも立科もオレゴンも続いていくと良いなと思いました。

三つ目は、ホストファミリーと過ごした時間です。空港についたときから私達を笑顔で迎え入れてくれました。家族で過ごす日には、ポートランドのサタデーマーケットにつれていってもらったり、海やショッピングモールにも行きました。サタデーマーケットは桜が満開で見ごろをむかえていました。桜の木の下にあった石碑には日本語で文化が匂うバラの町と書いてありました。ここにも日本とのつながりを感じることができました。

この経験を通してこれから頑張りたいことは、語学力をつけることです。ホストファミリーと過ごす中でもっと色々な話をしたいの思いが強くなりました。もっと英語を学んでいつかより楽しく会話をしたいです。今回このような体験が